



大リビア・アラブ社会主義人民ジャマヒーリーヤ国
The Great Socialist People's Libyan Arab Jamahiriya
 2007年12月現在



一般事情

- 1.面積 176万平方キロメートル(日本の約4.6倍)
- 2.人口 574万人(2004年推計)(IMF)
- 3.首都 トリポリ
- 4.民族 アラブ人
- 5.言語 アラビア語
- 6.宗教 イスラム教(スンニ派)
- 7.国祭日 9月1日(革命記念日)
- 8.通貨 リビアン・ディナール(LD)
 為替レート 100円 = 1.01LD(2007年9月現在)
 補助通貨単位 1,000ディルハム = DIRHAM/S

9.査証(ビザ)

- 10.在留邦人数 113名(2007年10月) コンセント・タイプ
- 11.在日当該国人数 36名(2006年12月現在)
- 12.電源 - V - Hz
- 13.国際電話 国番号 218 国際通話コード 0
- 14.シガレット 小売価格 - US\$ (20本当り)

- 税率 - %
- 製造数量 3,500(百万本/年)
- シガレットメーカー

General Tobacco Company (G.T.C.)

15.略史

年月	略史
1951年12月	リビア連邦王国(イドリス王国)として独立
1969年9月	9月1日革命、カダフィ大尉(当時)によるクーデター、リビア・アラブ共和国に改称
1977年3月	人民主権確立宣言(ジャマヒーリーヤ宣言)発表 社会主義人民リビア・アラブ国に改称
1986年1月	米国対リビア経済制裁措置発表
1992年3月	国連安保理で対リビア制裁決議748採択
1993年11月	国連安保理で対リビア制裁強化決議883採択
1999年4月	国連安保理で対リビア制裁の停止を発表
2003年9月	国連安保理で対リビア制裁の解除を発表
2003年12月	大量破壊兵器計画の廃棄を発表
2004年1月	CTBT批准、CWC加入
2004年10月	米国が対リビア経済制裁措置を解除
2006年8月	IAEA追加議定書締結

16.在外大使館・領事館 なし

17.駐日大使館・領事館

大リビア・アラブ社会主義人民ジャマヒーリーヤ国人民事務所
 People's Bureau of the Great Socialist People's Libyan Arab Jamahiriya in Japan
 〒150-0034 渋谷区代官山町10-14
 電話:03-3477-0701、03-3477-0702、03-3477-0703

政治体制・内政

- 1.政体 ジャマヒーリーヤ(大衆による共同体制の意)体制
- 2.元首 ムアンマル・アル・カダフィ9月革命指導者(Muammar Al Qadthafi)
- 3.議会 全国人民会議
- 4.政府 全国人民委員会
 (1)首相格 アル・バグダーディ・アリー・アル・マフムーディ 全国人民委員会書記
 (Al-Baghdadi Ali Al-Mahmoudi)
 (2)外相格 アブドルラハマーン・モハメッド・シャルガム
 対外連絡国際協力担当全国人民委員会書記 (Abdelrahman Mohamed Shalgam)

5.内政

イスラム教を基調においた社会主義的、民族主義的国家的建設を目的とし、人民主権、直接民主主義に基づいた体制(ジャマヒーリーヤ体制)の確立を目指している。

外交・国防

1.外交基本方針

- (1) アフリカ諸国との連帯、イスラム社会の連帯とアラブの団結
 - (2) パンナム機事件等に関する国連安保理決議731、748及び883の採択により、国際的な孤立感が高まったが、1999年4月の国連安保理制裁停止(2003年9月には制裁解除)、遺族との補償交渉結着、大量破壊兵器計画の廃棄を受け、国際社会への復帰が急速に進んでいる。
- なお、外交上最大の課題とされた米国との関係についても、2004年10月に米国による対リビア制裁が解除され、2006年5月には在リビア米国連絡事務所が大使館に昇格し、同年6月には米国のテロ支援国家リストから削除されたことにより正常化が図られている。

2.軍事力

- (1) 予算 6億7000万ドル(2005年)(IMF推定)
- (2) 兵役 選抜徴兵制(期間:1~2年)
- (3) 兵力 76,000人(予備役40,000人)

経済

1.主要産業

石油業

2.GDP(名目)

503億ドル(2006年)(世銀)

3.一人当たりGDP

7,380ドル(2006年)(世銀)

4.経済成長率

5.6%(2006年)(世銀)

5.消費者物価上昇率

2.0%(2005年)(IMF)

6.失業率

約30%(2002年推定)(IMF)

7.総貿易額

- (1) 輸出 146.6億ドル(2003年推定)(IMF)
- (2) 輸入 72.0億ドル(2003年推定)(IMF)

8.主要貿易品目

- (1) 輸出 石油等
- (2) 輸入 自動車、電器製品、食糧品等

9.主要貿易相手国(2004年)

- (1) リビアからの輸出 伊、独、西
- (2) リビアへの輸入 伊、独、英

10.通貨

リビアン・ディナール(LD)

11.為替レート

100円 = 1.01LD(2007年9月現在)

12.石油概況

- (1) 確認埋蔵量 391億バレル(世界第9位)(2005年末現在)(BP)
- (2) 原油生産量 1日あたり170万バレル(世界第17位)(2005年現在)(BP)
- (3) 輸出货量 134万BPD(主要輸出先:伊、独、西、仏)(2004年現在)(OPEC)

13.経済概況

1992年以降、国連による経済制裁の影響により、原油収入の減少、投資の縮小、外貨事情の悪化がおこり経済成長は停滞。
1999年4月の国連制裁の停止を契機に経済の開放を進め、建て直しを図っている。
石油価格の上昇と相俟って経済情勢は好転している。

二国間関係

1.政治関係

- (1) 外交関係樹立 1957年6月
- (2) 公館設置
我が方公館
1973年1月 大使館開設
先方公館
1971年8月 大使館開設
1980年1月 人民事務所へ移行

2.経済関係

- (1) 対日貿易
(イ) 品目
輸出 自動車、電線、鋼管等
輸入 まぐろ等
(ロ) 貿易額(貿易統計)
輸出 220.4億円(2006年)
輸入 48.2億円(2006年)
- (2) 2005年10月、リビアにおける第2回新規石油鉱区入札で我が国企業5社が6鉱区を落札。
2006年12月の第3回新規石油鉱区入札では、我が国企業2社が2鉱区を落札。

3.文化関係

- (1) 国費留学生の受入れ 毎年2名程度
- (2) 柔道専門家5名派遣(2000年4月、2004年11月)、同3名招聘(2006年1月)
- (3) 「砂漠は沈黙ではない」展(リビアの現代考古学美術展)開催(2005年4月)
- (4) リビアは2005年日本国際博覧会(愛・地球博)に公式参加
- (5) 2007年には、外交関係樹立50周年を記念して和風製作講習会、邦楽グループ公演を実施

4.在留邦人数

113名(2007年10月)

5.在日当該国人数

36名(2006年12月現在)

6.要人往来

(1)往(1974年以降)

年月	要人名
1974年1月	小坂特使
1979年11月	日本・リビア友好使節団(団長:木村元外相、超党派議員団)
1985年8月～9月	日本・リビア友好協会友好使節団(団長:櫻内元外相)
1986年4月	柿澤衆議院議員
1990年7月	谷川参議院議員
1998年11月	日本・リビア友好協会友好使節団(団長:柿澤元外相)
1999年9月	貿易投資シンポジウム出席(団長:柿澤元外相)
2000年9月	荒木外務総括政務次官
2004年6月	逢沢外務副大臣(総理特使)
2004年12月	福島外務大臣政務官
2005年11月	日本AU友好議員連盟北部アフリカ訪問団 (団長:尾身元科学技術担当大臣)
2006年4月	日本・リビア友好協会ミッション(町村衆議院議員、柿澤元外相)
2006年8月	松田内閣府科学技術政策・IT担当大臣(総理特使)
2006年12月	小池内閣総理大臣補佐官(国家安全保障問題担当)
2007年3月	松田参議院議員
2007年6月	岩屋外務副大臣
2007年6月	日本・リビア友好協会ミッション(団長:柿澤元外相)

(2)来(1980年以降)

年月	要人名
1980年11月	リビア・日本友好使節団
1983年12月	ラジャブ全国人民会議事務局書記長
1985年4月	モンタセル重工業担当全国人民委員会書記
1985年8月	トレイキ対外連絡担当全国人民委員会書記(外賓)
1985年10月	ヒガーズィ人民委員会担当書記(非公式)
2000年2月	ズリティニ経済貿易担当全国人民委員会書記(高級実務者)
2001年6月～7月	サーディ・カダフィサッカー協会会長
2002年6月	(同上非公式、W杯)
2002年9月	ズリティニ石油公団総裁 (第8回国際エネルギーフォーラム)
2003年9月	シアラ対外連絡国際協力担当全国人民委員会副書記 (TICAD III)
2004年8月	シアラ対外連絡国際協力担当全国人民委員会副書記
2005年4月	セイフ・アルイスラム・カダフィ国際慈善基金総裁 (博覧会賓客)
2006年7月	ガーネム・リビア国営石油公社総裁(前首相)
2006年9月	マトーク労働・訓練・雇用担当全国人民委員会書記

7.二国間条約・取極

なし